

【質疑応答】

≪就職指導支援員の二次募集について≫

中国新聞 就職指導支援員の件で、この夏に、本来なら就職指導がぐっと進む時期だと思うんですけども、今一番、学校現場の就職指導で、障壁になっているのはどういう状況か教えていただけますでしょうか。

教育長 はい、そうですね、一つはですね、時期がずれてしまったということがやはり大きいかなと思っております。それから、各学校の校長先生方に聞きますと、今年度に関しては、求人数は、多少減っているものの、就職を希望する生徒数に対しまして、大丈夫かな、という感じは、実感値としてあるのが実情です。しかし、御承知のように、コロナ禍において今年度だけではなくて来年度、そしてその次も大変になってくるかと思えますし、生徒たちのために、社会に開かれた教育課程と言われてはいますが、就職指導においても、やはり学校の先生だけではなくて、いろんな目で指導することが大事だと思っておりますので、今、たちまち何かこれによって障壁があるということは言えないんですけども、やはり事前にとにかくですね、来年度、それから再来年度にも増して、外の力をお借りしたいということで、就職指導支援員を募集しているところです。誰でも良いというわけではなくて、やはり学校が持っていない視点をお持ちの方に来ていただきたいということで、求める人物像を、先ほど申し上げたようにB to B ということで表しているわけがございます。